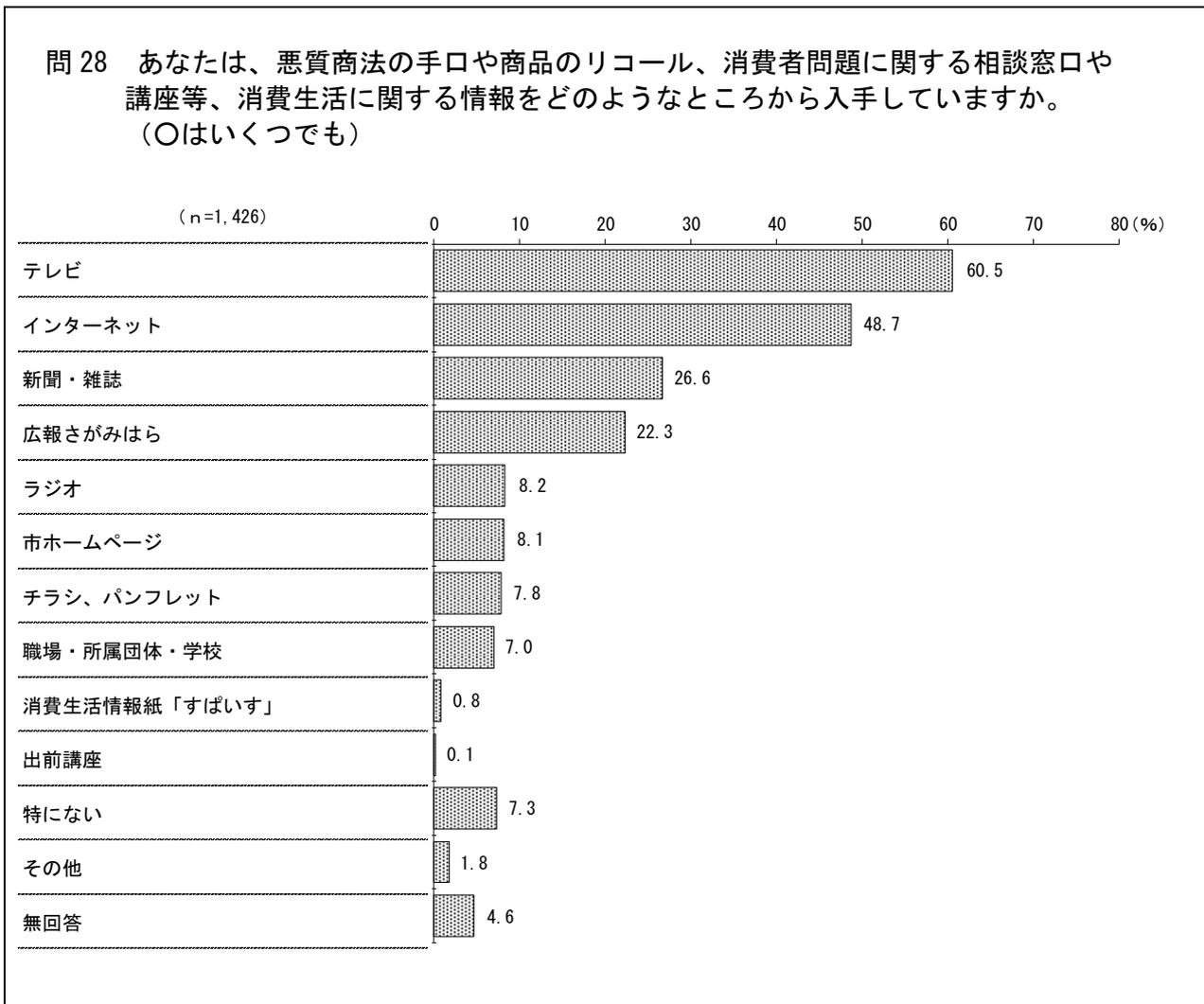


(3) 情報の入手先



悪質商法の手口や商品のリコール、消費者問題に関する相談窓口や講座等、消費生活に関する情報をどのようなところから入手しているかたずねたところ、「テレビ」(60.5%)が6割を超えて最も高い。次いで、「インターネット」(48.7%)、「新聞・雑誌」(26.6%)、「広報さがみはら」(22.3%)と続いている。

<性別・性／年齢別・区別結果> (上位10項目)

性別で見ると、「テレビ」は、女性が男性より6.6ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「インターネット」は、男性30～39歳が最も高く、8割半ばを超えている。

「新聞・雑誌」は女性70歳以上が最も高く、5割近くとなっている。

区別で見ると、「広報さがみはら」は緑区が2割半ばを超えている。

